

2 2 陳 情 第 9 号	(津久戸小、江戸川小) 統合協議会に関する陳情
付 託 委 員 会	文教委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	平成22年2月22日受理、平成22年2月26日付託
陳 情 者	新宿区神楽坂————— ————— 代表 ————— ほか——名
<p>(要 旨)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 統合協議会準備会について、透明性を求めます。 2 統合協議会及び準備会の運営ルール、関係性について明文化を求めます。 3 統合協議会に、統廃合に異議を唱えるメンバーを選出してください。 <p>(理 由)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 統合協議会準備会について、透明性を求めます。 津久戸小学校PTA会長より、統合協議会準備会(2月24日開催予定)の招集を受けた件について報告を受けましたが、開催の詳細(召集メンバーや開催の目的や議案など)は、両校保護者に一切伝えられておりません。そこで、準備会傍聴希望を求めたところ、新宿区教育委員会より断りの返答を受けたと聞きました。統合協議会設置準備段階においても公正および透明性は不可欠と考え、準備会の傍聴を許諾するとともに、議事および議事録の公開を強く求めます。 2 統合協議会と準備会の運営ルール、関係性について明文化を求めます。 準備会及び協議会について、それぞれの会合の性質と関係性を明文化してください。また、運営における会則及び規約を事前に定め、両校在校生保護者に公開してください。更に、準備会から統合協議会に移行するための要件を定め、明文化しその公開を求めます。 3 両校から統廃合に異議を唱えるメンバーも選出してください。 津久戸小学校PTAは、昨年度2月の総会決議以降、統合協議会設置に反対の意を示しており、複数の地域団体から両校合意の上で協議会設置を求める陳情を提出しています。このような状況を踏まえ、統合協議会には地域や保護者を代表するメンバ 	

ーを含む選出を強く求めます。民主的な協議運営を行うために、メンバーの人は大変重要であり、学校長や教育委員会による推薦に限らず、公募など今までとは異なった方法で行うべきです。

現在は、学校を取り巻く様々な制度や教育方針の見直しがされている過渡期といえます。ゆとり教育や学級編成基準の見直しなどによって、学校関係者（児童、保護者及び教師）や地域が、大きな影響を受けるのは必然です。一方で、学齢別推計人口調査結果（2009年5月）にて、今後、両校学区域では予定就学児童が増加傾向にあるという報告がされています。このような時期に、牛込A地区の適正配置問題を両校の統廃合によって改善できるのか、その必要性を十分に協議することを求めます。本来、子どもの居場所であり地域の防災拠点である学校を閉校するといった重大な決定においては、子どもや地域への影響を最小限に抑えるため、決行時期の見送りも含め話し合われる必要があると考えます。